



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/406  
即時解禁  
2011年11月10日

国際通貨基金 (IMF)  
米国・ワシントン DC

## IMF 専務理事、中国訪問を終了：同国トップと会談

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は、本日北京にて以下の声明を発表した。

「IMF 専務理事就任後、初めての中国訪問の間の、中国当局による歓迎に深く感謝する。

温家宝首相、習近平国家副主席、および王岐山副首相と会談を行う機会を得たことを大変光栄に思う。また、中国人民銀行の周小川総裁と、実り多き意見交換を行うことができた。

我々は、世界経済、特にユーロ圏が直面している主な問題と、中国やアジア地域への影響について協議を行い、世界レベルでの政策協調の強化と、強固で持続可能な均衡ある世界成長の確保に向けた断固たる措置を一体となり講じることが重要であるという点で合意した。

我々は、今日の世界経済において、各国間の相互関連性が高まっているという認識を共有した。世界第 2 位の経済大国として、中国は、貿易、投資および融資を通し、世界経済の回復の促進を支えるうえで、大きな役割を果たしている。

中国は、与信の拡大のペースの鈍化、引当金や資本の増額、或いはマクロプルーデンス政策の対象範囲の拡大を通じた国内の脆弱性の軽減において、正しい軌道にある。また、財政政策は、次第にバランスの取れた状態に戻っており適切である。

さらに、同国は、第 12 次 5 年計画が示す、国内消費により軸足を据えた経済への転換と、国民のためにより包括的な成長を実現するという目標の達成に向かい、正しい軌道にあるといえる。この意味において、金融システムの改革は引き続き重要である。中国元が引き続き上昇できるようにするなど、この一連の政策の統合パッケージが、中国および世界経済にプラスの影響を及ぼすことになるだろう。

ワシントン, D.C. 20431 ● 電話: 202-623-7100 ● ファックス: 202-623-6772 ● [www.imf.org](http://www.imf.org)

加えて、我々は G20 における中国の先導的な役割についても話し合った。中国は IMF においても重要な役割を果たすと同時に、出資国の上位 3 カ国に名を連ねている。IMF の欠くことのできない加盟国であり重要なパートナーである。中国当局との力強く緊密かつ真摯な関係に深く感謝する。この度、我々の関係の強化の可能性について意見交換を行うことができた。

最後ではあるが、今般の訪中において、北京国際金融フォーラムの年次会合で演説を行い、中国の地方のリーダー、民間部門の幹部、学界関係者、およびシンクタンク代表と意見を交わす機会を得ることができ感謝する。

中国を再び訪れることができたことを大変嬉しく思うとともに、中国当局の手厚い歓待に、改めて謝意を表す」